

貿易実務・通関実務のスペシャリストを目指す!

公益財団法人 日本関税協会
Japan Tariff Association

教育セミナー

新人研修・自己啓発・人材育成等にお役立て下さい。 (2017年[下半年])

広汎な貿易実務を一日でスピーディーに解説!

貿易実務【基礎編】 (P.2) 講師: 曾我しのぶ

二日間じっくりと知識を整理し、書類作成の演習で仕上げ!

基礎から振り返る貿易実務 (P.3) 講師: 高橋靖治

難解とされる代金決済・外国為替がクリアになります。

貿易実務【金融編】 (外国「貿易」為替) (P.4) 講師: 曾我しのぶ

講義と演習で、貿易取引の英文レターの書き方を身につけましょう。

貿易取引の英文レター (P.5) 講師: 川村久美子

貿易の仕組みを深く理解することが、実務の効率化につながります。

貿易取引の構造変化と実務 (P.6) 講師: 公平伸夫

会社を守るワンランク上の貿易実務を取得しましょう。

貿易取引のリスク対策 (P.7) 講師: 曾我しのぶ

基本的な制度と仕組みについて解説!

通関手続【入門編】 (P.8) 講師: 石原伸志

転換期を迎える「通関」、各制度をいかに使いこなすかが勝負です。

輸出通関手続・輸入通関手続 (P.9) 講師: 浦井茂穂

品目分類の枠組みと捉え方について、詳細に解説!

通関手続【品目分類 (1)~(6)】 (P.10) 講師: 長瀬 透

中国を中心に、海外進出とビジネスリスクへの理解を深めましょう。

グローバルビジネスリスクへの対処 (P.11) 講師: 高原彦二郎

中国の特殊な通関事情について解説!

中国の通関と貿易 —その現状と問題点— (P.12) 講師: 岩見辰彦

中国から日本への輸出、中国へ日本からの輸入について詳解!

検証: 中国貿易と通関 (日本への輸出編/日本からの輸入編) (P.13) 講師: 岩見辰彦

ベトナム現地で活躍するコンサルタントが、各種事例を解説!

ベトナム進出とビジネスリスク (P.14) 講師: 斉藤雄久、今村茂

—投資法・企業法の影響、通関と税務リスク—

協会Webサイトよりお申し込み下さい。▶ <http://www.kanzei.or.jp/>

※通関研究部会・貿易実務研究部会員の皆様も賛助会員価格です。

貿易実務 基礎編

講師 曾我しのぶ氏

開催日時

第3回:2017/11/6(月) 9:30~17:00
第4回:2018/1/25(木) 9:30~17:00

会場

連合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

広汎な貿易実務を一日で明快かつスピーディーに解説します。

貿易取引の流れの中に潜むリスクは、信用状取引によって未然に防ぐことが出来ます。

講義の冒頭では、そのリスク回避可能な信用状取引を、続いて輸出入貨物の取扱いを定めた取引条件であるインコタームズ、貨物の状況に応じた運送方法、貨物海上保険、貨物の代金決済等取引中での手続・制度...と、広汎な貿易実務を一日でスピーディーに解説します。また、輸出と輸入の際に発生する様々な実務についても取り上げます。

貿易用語を耳にしたことのある方、今まさに貿易実務を担当しているお忙しい皆様への、一日完結の講座です。

セミナー内容

- ①貿易取引のしくみ
- ②インコタームズと価格建て
- ③貿易取引の運送
- ④貨物海上保険
- ⑤代金決済方法
- ⑥輸出実務の流れ
- ⑦為替変動リスクの回避
- ⑧輸出の通関・船積み
- ⑨輸入実務の流れ
- ⑩貨物の荷受けと通関
- ⑪関税制度

締切/対象/受講料等

- 定員: 60名 ※先着順
- 締切: 第3回 2017/10/30(月)
第4回 2018/1/18(木)
※定員に達し次第締切
第3回と第4回の講義内容は同じです。
- 受講料: 賛助会員=12,000円+税
: 一般=18,000円+税
(いずれも1人当たり。受講料にはテキスト代を含みます)
- 対象: 貿易実務担当者、知識を広めたい方
- 申込: 協会Webサイトよりお申し込みください。
(<http://www.kanzei.or.jp/>)

講師紹介

曾我しのぶ(そがしのぶ): (株)アースリンク代表取締役。早稲田大学卒業後、旧富士銀行(現:みずほ銀行)人事部研修課にて外為研修ほか各種研修に従事。退職後、貿易実務、外国為替、通関士、ビジネス英語等の講師活動を開始し、現在、JETRO認定貿易アドバイザー有資格者としてJETRO各事務所、商社、人材派遣会社等の講座で活躍中。
著書: 『貿易実務の基礎がわかる本』(C&R研究所)、『貿易為替のことが面白いほどわかる本』『貿易実務ハンドブック』(中経出版)、他多数。

※都合により講師が変更になる場合もございます。予め御了承下さい。

お問い合わせ先

公益財団法人 日本関税協会 教育・セミナー G

TEL: 03-6826-1434 FAX: 03-6826-1435

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

基礎から振り返る貿易実務

講師 高橋靖治氏

開催日時 2017/12/11(月)・12(火) の2日間 9:30~17:00

会場 連合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

幅広い「貿易実務」全体を捉えることで、応用力が身に付きます。

この講座は幅広い貿易取引全体の流れを抑えながら、貿易取引と貿易業務の重要なポイントを理解し、貿易実務の基礎を確認するカリキュラムとなっています。貿易取引マーケティングの考え方や外国との売買契約の重要性・危険性などを紹介し、また、貿易取引に使用される基本的かつ重要な書類の役割とその内容について、わかりやすく解説します。また、書類作成の演習も含まれています。

貿易実務は、非常に幅広い分野にわたっており、輻輳した内容を持っています。幅広く理解を深めることで、点と点であった自分自身の知識を線にし、さらに面にしていいただくように、そのヒントを提供したいと願っています。貿易実務の基礎を確認し、貿易取引に関連する応用力を身につけ、日常の業務に役立てることを目的としています。

これから貿易業務を担当する方にも、これまでの仕事を振り返って業務の内容を確認したい方にも、是非ともご参加いただきたい講座です。

セミナー内容

- ①貿易取引・貿易手続の流れ
- ②法的規制の確認
- ③売買取引の契約成立
- ④売買契約書の作成
- ⑤信用状の開設
- ⑥代金決済の方法
- ⑦インボイスの作成
- ⑧パッキングリストの作成
- ⑨輸出貨物の通関・船積依頼
- ⑩輸出申告書
- ⑪船荷証券
- ⑫保険証券
- ⑬為替手形
- ⑭演習問題等

締切/対象/受講料等

- 定員：60名 ※先着順
- 締切：2017/12/5(火)
※定員に達次第締切
- 受講料：賛助会員=18,000円+税
：一般=27,000円+税
(いずれも1人当たり。受講料にはテキスト代を含みます)
- 対象：貿易実務をこれから初めて取り組む方、貿易実務全体をもう一度再確認したい方
- 申込：協会Webサイトよりお申し込みください。
(<http://www.kanzei.or.jp/>)

講師紹介 高橋靖治(たかはしやすはる)：貿易ビジネスコンサルタント、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)認定貿易アドバイザー有資格者。国際商取引学会会員。1958年(株)服部時計店(現・セイコー(株))入社。特品海外業務部長を経て、(株)ピーエスジー代表取締役。貿易ビジネスコンサルタントの他、企業、大学、ビジネス専門学校、資格予備校などで貿易実務講座、貿易ビジネス英語講座などの講師を務める。

お問い合わせ先

公益財団法人 日本関税協会 教育・セミナー G

TEL：03-6826-1434 FAX：03-6826-1435

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

貿易実務

金融編

(外国「貿易」為替)

講師 曾我しのぶ氏

開催日時 2018/2/23(金) 9:30~17:00

会場 連合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

貿易取引には為替も重要なファクターです。

貿易取引には、貨物の受渡契約と共に代金決済が伴いますが、その際に避けて通れないのが外国為替です。

本講座は①外国為替のしくみ、②貿易取引における代金決済と代金回収リスクの回避、③外国為替相場、④外貨取引の計上処理の4つの柱で進めていきます。

代金決済やその企業の資金の流れは、物流とも大きな関係があるため、物流の観点も加えながら整理します。最新のトピックなどもおりまぜながら、貿易取引を外国為替という金融面からとらえていく講座です。

セミナー内容

- ①貿易取引の流れ
- ②外国為替とは
- ③貿易取引の代金決済方法
- ④信用状以外の代金回収リスクの回避
- ⑤信用状取引の問題点と信用状取引に代わる新しい代金決済方法(TSU/BPO)
- ⑥外国為替相場の種類
- ⑦銀行の対顧客直物相場
- ⑧先物相場とは?
- ⑨為替変動リスクの回避
- ⑩外貨取引の会計上、税務上の外貨換算処理

締切/対象/受講料等

- 定員：60名 ※先着順
- 締切：2018/2/16(金)
※定員に達し次第締切
- 受講料：賛助会員=13,000円+税
：一般=19,500円+税
(いずれも1人当たり。受講料にはテキスト代を含みます)
- 対象：貿易実務担当者はもちろん、貿易取引からの外国為替を学びたい方
- 申込：協会Webサイトよりお申し込みください。
(<http://www.kanzei.or.jp/>)

講師紹介 曾我しのぶ(そがしのぶ)：(株)アースリンク代表取締役。早稲田大学卒業後、旧富士銀行(現：みずほ銀行)人事部研修課にて外為研修ほか各種研修に従事。退職後、貿易実務、外国為替、通関士、ビジネス英語等の講師活動を開始し、現在ジェトロ認定貿易アドバイザー有資格者としてジェトロ各事務所、商社、人材派遣会社等の講座で活躍中。
著書：『貿易実務の基礎がわかる本』(C&R研究所)、『貿易為替のことが面白いほどわかる本』、『貿易実務ハンドブック』(中経出版)、他多数。
※都合により講師が変更になる場合もございます。予め御了承下さい。

お問い合わせ先

公益財団法人 日本関税協会 教育・セミナー G

TEL：03-6826-1434 FAX：03-6826-1435

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

貿易取引の英文レター

講師 川村久美子氏

開催日時 2018/1/17(水) 13:00~17:00

会場 連合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

講義と演習で、貿易取引の英文レターの書き方を身に付けましょう。

海外との商取引である国際貿易では、英文でのやりとりは避けて通ることが出来ません。この講座では、実務の場面ごとに、その場面でよく使われる基本表現を整理し、貿易における基本用語、イディオム、言い回し等を学びます。

そして、それらを活用しながら「英文和訳 → 穴埋め(一部英単語の穴埋め) → 英訳」の順に演習を積み上げていきます。

最終的には基本的な表現を組み合わせて、自ら簡単なレターを作成できる力を身につけていただくことを目標としています。

※なお、講義の英語の難易度については、高校修了程度の英語力を想定しております。

セミナー内容

- ①取引交渉の流れ
取引交渉の流れ/場面ごとに交わされる英文レター/場面ごとの貿易英単語、イディオム、基本表現
- ②オファーと見積もりに関する表現
インコタームズの考え方/オファーと見積もりの基本表現/英文作成/見積書の作成
- ③価格交渉に関する表現
- ④貨物の梱包・船積みに関する表現
- ⑤クレームに関する表現
輸入者側からのクレーム(貨物の損傷、出荷遅延)/輸出者側からのクレーム(代金支払い遅延)

締切/対象/受講料等

- 定員：60名 ※先着順
- 締切：2018/1/10(水)
※定員に達次第締切
- 受講料：賛助会員=12,000円+税
：一般=18,000円+税
(いずれも1人当たり。受講料にはテキスト代を含みます)
- 対象：貿易実務担当者、知識を広めたい方
- 申込：協会Webサイトよりお申し込みください。
(<http://www.kanzei.or.jp/>)
- 備考：受講の際、もしお持ちでしたら辞書を持参いただくと便利です。なお、講義の英語の難易度については、高校修了程度の英語力を想定しております。

講師紹介 川村久美子(かわむらくみこ)：(株)アースリンク 貿易アドバイザー。大学卒業後、電子材料商社・電子精密部品メーカーにて一貫して仕入管理業務を担当。取引先の海外展開拡大に伴い、輸出：輸入業務全般も兼任。以降、実務部門の責任者として、新入社員のオリエンテーション、一般社員を対象とした貿易実務に関する勉強会等、社内研修の立案・計画も含めて社内講座を開催、講師を務める。定年退職後、株式会社アースリンクにて、これまでの豊富な実務経験を生かし、貿易実務、外為講師および企業の海外展開に関するアドバイザーとして本格的に活動開始。講師業のかたわら、株式会社アースリンクにおいて、貿易アドバイザーとして企業の海外展開のコンサルタント業務もを行っている。貿易実務検定準A級、グローバルビジネス法務検定C級、教員免許「英語」中学1級、高校2級、図書館司書資格保持者

※都合により講師が変更になる場合もございます。予め御了承下さい。

お問い合わせ先

公益財団法人 日本関税協会 教育・セミナー G

TEL：03-6826-1434 FAX：03-6826-1435

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

貿易取引の構造変化と実務

● ● 講師 公平伸夫氏

開催日時 2018/2/8(木) 10:00~16:30

会場 連合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

貿易の仕組みを深く理解する事が、実務の効率化につながります。

グローバル化の進行と共に、貿易ビジネスの分野では多様な取引形態が生まれ、スピード化が一段と求められる時代になっています。更に、コンテナ物流の進化により、相手国の内陸まで貨物を持ちこむ国際複合一貫輸送をペースとする取引が一般化してきています。一方、実務の分野では、情報システムの高度化によるマニュアル化や分業体制により、業務がますます細分化されてしまう傾向にあります。この結果、貿易取引や貿易実務の全体像が極めて見えにくくなってきているのも事実です。貿易取引特有のリスクを回避し、スムーズな貿易実務を遂行するためには、時代の変化を正しく認識すると同時に、原点に立ち返り、貿易取引の仕組みについて詳しく理解する事が重要です。また、変化の激しい現代においては、荷主とフォワーダーが、情報を共有し、相互に、より緊密なパートナーシップを構築していくことも、極めて大事です。

商社で30年、フォワーダーで11年勤務した講師が、貿易取引の現状を踏まえ、リスクの回避、見落としがちな貿易実務の問題点を、体験談を織り交ぜながらテーマを絞って解説致します。

セミナー内容

- ① 貿易取引の構造変化と契約の重要性
貿易構造の変化/新たなリスク/国際複合輸送の発展/貿易取引及び実務全体の流れ(レビュー)/契約書
- ② コンテナ物流の一般化とインコタームズの正しい理解
在来船からコンテナ船への移行/FCL貨物とLCL貨物の取扱方法/国際複合輸送とは/インコタームズ
- ③ 信用状とインストラクション
荷為替の利用/貿易の決済方法/信用状決済の重要性/信用上統一規則/信用状の基本原則/内容点検とアmend/インストラクション/ディスクレ/信用状の種類/輸出形保険
- ④ 船荷証券(B/L)の正しい理解
有価証券としての重要性/発行の申込書/「B/L揚げ」/紛失リスク/国際ルール/「荷受人欄」の重要性/船積式と受取式の違い/ダメージと船荷証券の関連性/「B/L」の危機
- ⑤ 21世紀型貿易に関する対処
製造物責任とPL保険/AEO制度/知的財産権保護/貿易協定への対応/物流における改革

締切/対象/受講料等

- 定員：60名 ※先着順
- 締切：2018/2/1(木)
※定員に達し次第締切
- 受講料：賛助会員=13,000円+税
：一般=19,500円+税
(いずれも1人当たり。受講料にはテキスト代を含みます)
- 対象：貿易業務に携わって3~4年の実務者。
特に荷主としてフォワーダーに業務を委託して輸出入取引に従事している方。
- 申込：協会Webサイトよりお申し込みください。
(<http://www.kanzei.or.jp/>)

講師紹介 公平伸夫(こうだいらのぶお)：(一社)日本貿易会傘下のABIC(国際社会貢献センター)登録アドバイザー。1970年早稲田大学商学部卒業後、三菱商事(株)入社。タイ国駐在を含め、資材本部にて30年にわたり輸出入・三國間貿易に従事。その後、早川海陸輸送(株)常務取締役、凸版物流(株)国際物流本部長として港湾・国際物流業務を10年余担当。商社および物流会社の経験を活かし、専門学校、派遣会社、大学などで貿易実務研修講師を行う一方、コンサルタント、講演活動などでも活躍中。

お問い合わせ先

公益財団法人 日本関税協会 教育・セミナー G

TEL：03-6826-1434 FAX：03-6826-1435

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

貿易取引のリスク対策

講師 曾我しのぶ氏

開催日時 2018/3/2(金) 9:30~17:00

会場 連合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

会社を守るワンランク上の貿易実務を習得しましょう。

外国との取引である貿易では、商品輸送、保険、代金決済などの業務が複雑に絡み合い、最終的に取引が完了するまでにさまざまなリスクが潜んでいます。

トラブルが発生した場合の解決も、相手国と文化や法制度が異なることから、国内よりもずっと困難を極めます。それらのリスクを未然に回避する、もしくは軽減するためには、トラブルが起きやすい実務のポイントを事前にきちんと把握し、その対応策を理解しておくことが重要です。

この講座では実際のトラブル事例にもとづき、トラブルが起きやすい実務のポイントを整理し、それを回避するために売買契約書上にどのように取り入れていくのか等の対応策を検討します。

※なお、この講座は「貿易実務 基礎編」受講済み、もしくはそれと同等の実務経験を有されている方が対象です。

セミナー内容

- ① 売買契約書の重要性
売買契約書の種類/表面条項と印刷条項/英米法の解釈に関する留意点/印刷条項の主要条項
- ② 紛争の解決方法
紛争の解決手段/訴訟と仲裁の違い/仲裁条項
- ③ インコタームズの留意点
インコタームズに基づく輸送の手配と保険の手配
インコタームズの危険負担の範囲と保険付保
輸送形態に適したインコタームズの重要性
(阪神淡路大震災から学ぶ)
- ④ 外為法に基づく輸出の法規制
安全保障貿易管理とは/リスト規制・キャッチオール規制/社内管理体制の構築
- ⑤ 貨物損傷とクレーム
貨物損傷時の実務ポイント/保険求償手続
- ⑥ 三国間貿易のポイント
三国間貿易(仲介貿易)とは/三国間貿易における価格・仕入先名称の取り扱い

締切/対象/受講料等

- 定員：60名 ※先着順
- 締切：2018/2/23(金)
※定員に達し次第締切
- 受講料：賛助会員=16,000円+税
：一般=24,000円+税
(いずれも1人当たり。受講料にはテキスト代を含みます)
- 対象：国際取引・貿易業務の管理職層の皆様、それに準ずる実務経験を有する方。
「貿易実務 基礎編」受講済み、もしくはそれと同等の実務経験を有する方。
- 申込：協会Webサイトよりお申し込みください。
(<http://www.kanzei.or.jp/>)

講師紹介

曾我しのぶ(そがしのぶ)：(株)アースリンク代表取締役。早稲田大学卒業後、旧富士銀行(現：みずほ銀行)人事部研修にて外為研修ほか各種研修に従事。退職後、貿易実務、外国為替、通関士、ビジネス英語等の講師活動を開始し、現在、ジェトロ認定貿易アドバイザー有資格者としてジェトロ各事務所、商社、人材派遣会社等の講座で活躍中。
著書：『貿易実務の基礎がわかる本』(C&R研究所)、『貿易為替のことが面白いほどわかる本』『貿易実務ハンドブック』(中経出版)、他多数。

※都合により講師が変更になる場合もございます。予め御了承下さい。

お問い合わせ先

公益財団法人 日本関税協会 教育・セミナー G

TEL：03-6826-1434 FAX：03-6826-1435

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

通関手続 入門編

● ● 講師 石原伸志氏

開催日時 2017/11/20(月) 9:30~17:00

会場 連合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

通関手続の基本的な枠組みを分かりやすく解説!

円滑な国際物流を構築していく上で、輸出入通関に関する知識は必要不可欠です。

現在、輸出入通関申告の98%は、NACCSと称する電子通関システムを通して行われていますが、許可取得までには、様々な法令も関与してきます。また、米国の同時多発テロ以降、世界的にセキュリティ管理と法令遵守(コンプライアンス)の体制が強化され、コンプライアンスが優れていると税関長によって承認された輸出入業者(AEO業者)の通関手続は簡便化が図られるようになりました。

そこで、本講座では通関業務に従事して日が浅い人、あるいはこれから従事される人を対象に、輸出入通関に関する基本的な手続きを、時系列にそって具体的な事例を交えながら説明致します。

セミナー内容

- ①輸出入通関制度の基礎知識
- ②輸出入通関と貿易管理
- ③通関に関する諸制度
- ④関税に関する諸制度
- ⑤輸入許可後の輸入申告関連業務

締切/対象/受講料等

- 定員：60名 ※先着順
- 締切：2017/11/13(月)
※定員に達し次第締切
- 受講料：賛助会員=10,000円+税
：一般=15,000円+税
(いずれも1人当たり。受講料にはテキスト代を含みます)
- 対象：貿易・通関業務を始めて半年から1年、もう一度再確認したい方
- 申込：協会Webサイトよりお申し込みください。
(<http://www.kanzei.or.jp/>)

講師紹介 石原伸志(いしはらしんじ)：1974年早稲田大学商学部卒業後、三井倉庫株式会社に入社。東京支店、調査室、国際部を経て1988年三井倉庫(株)タイランドへ出向。帰国後は国際部部長を経て2005年に退職。2006年より東海大学海洋学部国際物流専攻客員教授として、各国の国際物流の調査研究や多方面での講演で活躍中。

お問い合わせ先

公益財団法人 日本関税協会 教育・セミナー G

TEL：03-6826-1434 FAX：03-6826-1435

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

輸出通関手続・輸入通関手続

● ● 講師 浦井茂穂氏

輸出通関手続

開催日時 2018/2/1(木) 13:00~17:00
会場 連合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

輸入通関手続

開催日時 2018/2/2(金) 13:00~17:00
会場 連合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

転換期を迎える「通関」、各制度をいかに使いこなすかが勝負です。

この講座では、「輸出」と「輸入」それぞれ個別に焦点を絞って、各種の法的枠組みを解説致します。そして、それを踏まえて通関手続に係る諸制度にどういったものがあるのか、そしてそれらをどのように活用するかについて、理解を深めていただきます。

本年10月からスタートした申告官署の自由化、交渉が進む日EU EPAを始めとした多国間EPAなど、貿易・通関を取り巻く環境は、戦後いまだかつてない転換期を迎えようとしています。新時代の潮流に備え、今一度、輸出通関・輸入通関を整理し、各種制度をどう使いこなすかに意識を向けるのはいかがでしょうか。

セミナー内容

●輸出通関手続

- ①通常の輸出通関手続
- ②輸出申告の特例とその活用
- ③経済連携協定(EPA)の活用と原産地規則の基本的な捉え方
- ④輸出に関係する関税の減免戻税制度
- ⑤事前教示制度について

●輸入通関手続

- ①通常の輸入通関手続
- ②輸入申告の特例とその活用
- ③課税価格の決定方法(関税評価)
- ④関税の減免戻税制度、特殊関税
- ⑤特惠関税制度

締切/対象/受講料等

- 定員：いずれも48名 ※先着順
- 締切：2018/1/26(金)
※定員に達し次第締切
- 受講料：賛助会員=各6,000円+税
：一般=各9,000円+税
(いずれも1人当たり。受講料にはテキスト代を含みます)
- 対象：基本的な通関実務の知識をお持ちで、日々の通関業務で疑問点をお持ちの方
- 申込：協会Webサイトよりお申し込みください。
(<http://www.kanzei.or.jp/>)

講師紹介 浦井茂穂(うらいしげお)：1978年大蔵省(現財務省)入省。関税局総務課を振り出しに、関税局各課課長補佐、大蔵省税関研修所教官、各税関通関総括担当統括審査官、神戸税関総務部長、財務省税関研修所副所長などを経て退官。現在、日本通運(株)本社顧問、東京国際大学講師(非常勤)。関税局においては関税政策の企画・立案、関税率表の作成、通関制度の改正等に従事し、大蔵省税関研修所においては国内外の税関職員に対し通関実務を講義、各税関においては通関、保税、事後調査等を担当。また、JICA専門家としてインドネシア財務省関税消費税総局に赴き通関システム近代化研修の講師経験も持つ。輸出入通関に関しては幅広い知識と経験を有し、制度・実務の双方に精通している。

お問い合わせ先

公益財団法人 日本関税協会 教育・セミナー G

TEL：03-6826-1434 FAX：03-6826-1435

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

品目分類 (1)～(6)

講師 長瀬透氏

開催日時	第1回	2017/10/23(月)	第4回	2018/1/22(月)
	第2回	2017/11/27(月)	第5回	2018/2/26(月)
	第3回	2017/12/18(月)	第6回	2018/3/19(月)
会場	連合会館(千代田区神田駿河台3-2-11) ※講義時間は全て13:00～17:00です。			

EPA・FTAが拡大する中で、国内・海外で正しい関税率を適用するために!

HS分類(4桁の項及び6桁の号に関する分類)は、我が国の輸入税番号(9桁)や、輸出統計番号(9桁)を確定するための出発点であると同時に、輸出相手国で適用される関税率を知る上でも必須の国際分類です。

当セミナーでは、まずHS分類に不可欠である関税率表の解釈のための通則を包括的に取り上げその理解を深めるとともに、同通則などを駆使して、いろいろな分野の物品が特定の項・号にどのようにして分類されるかを中心に検討します。

日頃、我が国または輸出相手国に関する関税分類に携わっておられる方にとって、EPA・FTAが拡大する今こそ、HS分類を詳細に検討してみるのに良い機会ではないかと思えます。

なお、本コースは、輸入のみならず輸出においてもすでに関税分類をいろいろと経験されておられる方々向けに、関税分類を深掘りすることを企図したセミナーです。

セミナー内容

第1回『関税率表の解釈に関する通則について』
 【主要検討項目】 2017年10月23日開催
 ・関税率表の解釈に関する通則 1～6
 ・同通則の個別物品の分類への適用事例

第2回『食料品の分類について』
 【主要検討項目】 2017年11月27日開催
 ・1類～4類、7類～13類、15類、16類～21類に含まれる物品と、当該各分野から除外される物品の取扱い
 ・混合物と16～21類の調製食料品の相違点について

第3回『化学品の分類について』
 【主要検討項目】 2017年12月18日開催
 ・28類及び29類の無機化学品及び有機化学品の分類の原則
 ・30類～38類に分類される種々の調製品の分類及びこれらの類から除外される物品の取扱い

第4回『家庭用品、化粧品、衛生用品、家具等の分類の素材別検討』
 【主要検討項目】 2018年1月22日開催
 ・プラスチック、ゴム、木材、陶磁器、ガラス及び卑金属製の標記製品の分類の原則とこれらから除外される物品の取扱い
 ・標記製品の素材別分類の類似点と相違点について

第5回『機械・車両・光学機器等(84類～90類)の部分品・附属品について』
 【主要検討項目】 2018年2月26日開催
 ・機械・車両・光学機器等(84類～90類)に係る部分品・附属品の分類の原則
 ・前記各分野に分類される部分品・附属品と、当該各分野から除外される部分品・附属品の取扱い

第6回『HS2017から見たITA(情報技術協定)1996及びITA2015の対象商品目の分類について』
 【主要検討項目】 2018年3月19日開催
 ・HSは1996年の改正以降も、2002年、2007年、2012年及び2017年に改正が行われており、ITA1996はHS1996に準拠し、ITA2015はHS2007に準拠している。またITA対象品目の中には、HS分類が確定されていない品目もある。
 ・HS分類が確定していない品目を除く上記ITA対象品目が、HS2017に基づいてどのように分類されるかを明確化

締切/対象/受講料等

- 定員：各回48名 ※先着順
- 締切：第1回 2017/10/16(月) 第2回 2017/11/20(月) 第3回 2017/12/11(月)
 第4回 2018/1/15(月) 第5回 2018/2/19(月) 第6回 2018/3/12(月)
- 受講料：賛助会員=6,000円+税 一般=9,000円+税 (いずれも1人当たり。受講料にはテキスト代を含みます)
- 対象：HS分類に携わる事業者の方で、特に経験を重ねられている方
- 申込：協会Webサイトよりお申し込みください <http://www.kanzei.or.jp/>

講師紹介 長瀬透(ながせとおる)：1973年東京大学農学部農芸化学科卒。1986年ブラッセル自由大学・ボストン大学提携経営学修士。5年間医薬品の開発に従事した後、1978年から28年間財務省関税局及び税関に勤務し、関税局業務課補佐(関税分類担当)及び関税分類調査官などを務める。またこの間、WCO(世界税関機構)の関税・貿易局次長(HS担当)(1998年～2003年)を含め、同機構事務局に10年間勤務。2006年7月に沖縄地区税関長を退職。ジャストプロ、三菱商事を経て、現在、政策研究大学院大学の客員教授として、同大学院修士課程に在学中の海外留学生に、WTOとWCO、貿易円滑化とセキュリティ、関税率と関税分類、関税評価、地域統合と原産地規則などのテーマを講義。(株)ニトリ顧問。

お問い合わせ先

公益財団法人 日本関税協会 教育・セミナーG

TEL：03-6826-1434 FAX：03-6826-1435

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

グローバルビジネスリスクへの対処 — 中国を中心に —

● ● 講師 高原彦二郎氏他

開催日時 2017/10/25(水) 13:00~17:00

会場 連合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

中国を中心に、海外進出とビジネスリスクについて理解を深めましょう。

日本企業のアジアを中心とした海外展開が加速する一方で、進出先では労務リスク、知財リスク、売却回収リスクやローカル社員の不正リスク等、日本では予知できない様々なビジネスリスクが潜んでいます。当セミナーでは、まず前半でグローバルビジネスにおけるリスクについての概要を解説致します。それらリスクの中で日本企業としての対処法を本社による管理と現地子会社による管理手法を中心に解説致します。後半ではローカル企業との取引規模拡大が著しい中国を中心に、「商業賄賂」「独占禁止法」「税関法」の三つのテーマを法的枠組みとその概要、最新動向、実務対応について、数々の実例を元に解説致します。また、それらのリスクを軽減する有効な手段である「コンプライアンス体制の構築・強化」についても解説いたします。

本セミナーを通じ、海外進出に伴うビジネスリスク、特に日本においては見落しがちなリスク対処への正しい知識を身につけていただき、また、日系企業の進出先として大きな割合を占め、今後の市場として有望視される中国について理解を深め、事業の発展に役立てていただければ幸いです。

セミナー内容

「グローバルビジネスリスクマネジメント」

13:00-14:00 コンサルビューション(株)代表取締役社長 高原彦二郎氏

- ① グローバルビジネスとビジネスリスクとは
- ② 中国ビジネスの特徴
- ③ 中国子会社の経営管理とリスク対応・事例紹介

「中国商業賄賂、独占法、税関法への実務対応と中国におけるコンプライアンス体制の構築強化について」
14:00-15:30 世澤法律事務所 パートナー弁護士 陳軼凡氏

- ① 中国商業賄賂の概要及び実務対応について
中国「商業賄賂」とは / 現状と最新動向 / 日常経営における商業賄賂の注意事項と防止策 / 調査・捜査時の対応策
- ② 中国独占法の概要及び実務対応について
中国独占法の概要 / 事例紹介及び最新動向 / 実務対応

15:30-17:00 世澤法律事務所 パートナー弁護士 殷宏亮氏

- ③ 中国税関法の実務対応について
課税価格 / HSコードの重要性 / 知的財産権の税関保護
- ④ 中国におけるコンプライアンス体制の構築・強化について

締切/対象/受講料等

- 定員：60名 ※先着順
- 受講料：賛助会員=各5,000円+税
：一般=各7,500円+税
(1人当たり。受講料にはテキスト代を含みます)
- 締切：2017/10/18(水) ※定員に達し次第締切
- 対象：海外進出に関係する事業者、特に中国に進出している事業者の方
- 申込：協会Webサイトよりお申し込み下さい。
(<http://www.kanzei.or.jp/>)

講師紹介 高原彦二郎(たかはら ひこじろう)：コンサルビューション(株)代表取締役。中小企業診断士。

1980年に出生興産(株)入社。1985年から同社ロンドン支店、香港事務所副代表、北京事務所所長、2002年から同社海外部海外課課長を歴任。在職中、中東駐在員脱出とテロリスト対応のクライシスマネジメント、海外店の内部監査、内部統制システム構築などを経験。2005年7月にコンサルビューション(株)を設立し、中国を中心に、日系企業の経営内部監査、不正監査、内部統制システム等、会計、税務、労務、知財、債権分野などの日系企業のビジネスリスクマネジメントを手がける。中国では最近の日系企業の撤退・リストラや、アセアン地域のビジネスリスクマネジメントも広く手掛ける。ジェトロの中国リスクマネジメント委員会委員、中小企業庁・中小企業基盤整備機構の海外事業評価委員会委員等を歴任。

共同講演者

陳軼凡(チン イーファン)：中国弁護士。2001年、文部省留学生として中央大学大学院卒業。2011年1月1日より、世澤法律事務所上海事務所パートナーとして参画。主な業務分野は、外商直接投資及びM&A、企業日常法務、労働問題、不正競争及び独占禁止、知的財産権、税法、債権回収、訴訟及び仲裁、会社の解散・清算及び破産。

殷宏亮(イン コウリョウ)：中国弁護士。2002年吉林大学法学部、2007年一橋大学大学院卒業。三井化学(株)本社法務部で7年間、中国弁護士として中国関係案件全般を担当後2014年より世澤法律事務所に入所。主な業務分野は中国における投資、M&A・企業再編、一般企業法務、独占禁止法、コンプライアンス防止/違反対応及び日本における投資等。

お問い合わせ先

公益財団法人 日本関税協会 教育・セミナー G

TEL：03-6826-1434 FAX：03-6826-1435

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

中国の通関と貿易

その現状と問題点

● ● 講師 岩見辰彦氏

開催日時 2018/2/16(金) 9:30~17:00

会場 連合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

中国の貿易制度、通関制度、物流システムの今後は？

日中両国間での政治的問題を抱えつつ、経済的には、今後も貿易取引を続けなければならない最大の貿易相手国。可能な限り迅速な通関をするためには中国の特殊な通関事情を知ることがカギとなります。

通関システムの改革、加工貿易の改革、地域格差是正等の政策は、中国の貿易制度、通関制度、更には物流システムへも大きな影響を及ぼします。これらの中国独特な制度・仕組みについて改めて足下から見直し、理解することが今後の対中貿易を続ける上で必要不可欠です。通関制度や貿易管理制度から、中国国内における物流事情や保税制度の活用法に至るまで、中国貿易について岩見講師に一通貫に解説いただきます。

これから中国へ進出する方のみならず、何らかの疑問を抱きながら取引している方にも是非ご参加いただきたいセミナーです。解決の糸口が見いだせます。

セミナー内容

- ①中国貿易の中核としての加工貿易
企業構造から見る中国の貿易/加工貿易の原理原則を理解する/転換期を迎えた業務フロー/加工貿易に見る問題点/結転制度
- ②留意すべき貿易に関する税制
増値税とは/難解な輸出増値税/消費税とは
- ③中国版AEO制度について
中国版AEO制度の概要/AEO制度による通関管理
- ④中国物流を見る
中国国内物流の問題点/中国国内の物流をどう見るか/タイプ別の国内物流/中国との国際輸送/その他
- ⑤通関制度と貿易管理
中国税関と人治主義/通関制度と問題点/輸出入に係る税制/HS番号に関心を持とう/一般的な輸出入貿易管理
- ⑥中古機械とその他の検査検疫制度
特定の中古機電産品に対する輸入貿易管理/中古輸入設備の登録と検査/その他の検査検疫制度とCCC制度
- ⑦その他の留意事項
外国投資企業の設備免税輸入/国際電子商取引について/中国版事後調
- ⑧中国の保税制度
保税制度の種類/保税制度をどのように利用するか

締切/対象/受講料等

- 定員：48名 ※先着順
- 締切：2018/2/9(金)
※定員に達し次第締切
- 受講料：賛助会員=9,000円+税
：一般=13,500円+税
(いずれも1人当たり。受講料にはテキスト代を含みます)
- 対象：対中貿易に携わる全ての事業者の方
- 申込：協会Webサイトよりお申し込みください。
(<http://www.kanzei.or.jp/>)

講師紹介 岩見辰彦(いわみ たつひこ)：1963年慶應義塾大学経済学部卒業後、三井倉庫(株)に入社。1985年~1986年ニューヨーク現地法人勤務。帰国後、国内業務、国際部勤務を経て、1992年~1993年中国駐在員として上海勤務。1993~1999年国際輸送事業部並びに役員付、営業部所属。1999年~2001年再び上海勤務を経て同社を定年退職。その後、東京倉庫協会常務理事、専務理事を歴任。

お問い合わせ先

公益財団法人 日本関税協会 教育・セミナー G

TEL：03-6826-1434 FAX：03-6826-1435

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

検証：中国貿易と通関

中国から日本への輸出／中国へ日本からの輸入

講師 岩見辰彦氏

中国から日本への輸出

開催日時 2018/3/6(火) 9:30~17:00
会場 連合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

中国へ日本からの輸入

開催日時 2018/3/7(水) 9:30~17:00
会場 連合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

対中貿易なくして我が国経済は・・・

中国は今や日本の輸出入取引世界一の相手国。貿易取引には、「通関」が伴いますが、中国の貿易管理、通関事情をよく理解しておらず、トラブルになったケースが多数あります。また、中国への生産拠点移転に伴う現地販売等が進んだ結果、コンプライアンスを揺るがしかねない重大な問題も起きており、今、日本の親会社にとって現地事情の把握は最大の関心事です。

本講座は、従来の「中国の通関と貿易」の普遍的(総論)な講座とは異なり、『中国からの輸出』と『中国への輸入』とに大きく区分し、中国側に軸足を置いて、それぞれの固有の問題を解説し、様々な問題解決の糸口となるよう、より丁寧にわかりやすく講義を展開。対中貿易に関わる全ての方に聴いていただきたい講座です。※「中国の通関と貿易」、当講座輸出編、輸入編で内容が一部重複する説明もございますので予めご了承ください。

セミナー内容

●中国から日本への輸出

- ①中国では誰でも自由に輸出できるか?
対外貿易権について/営業許可証とは/税関登録番号制度
- ②中国の輸出貿易管理
一般的な輸出貿易管理/中国版ワッセナーアレンジメント?/知的財産権の税関保護/その他の検査と検疫
- ③わが国の輸入貿易管理
外為法上の輸入貿易管理/食品衛生法/動植物検疫制度
- ④原産地の認定と原産地証明
中国製の認定基準/原産地証明書について
- ⑤中国の加工貿易について
中国からの輸出形態/加工貿易とは何か/進料・来料加工/加工貿易に見るトラブル
- ⑥中国の輸出通関を検証する
輸出通関の流れを検証する/輸出関係の税金と課税方法/中国輸出品のクレーム問題
- ⑦輸出増徴税について
難解な輸出増徴税/免除、控除、還付方式
- ⑧中国の保税制度をどう利用するか?
輸出で利用される保税制度の種類/輸出における保税制度の利用方法/結転制度とは?
- ⑨中国の輸出外為制度
中国の外為決済/貿易取引価格の設定/輸出クレーム代金の国外送金/人民元の対外決済

●中国へ日本からの輸入

- ①日本側として事前に対応が求められる事項
OCC認証制度への対応/知的財産権への対応/AEO制度について/その他
- ②中国の企業構造に見る注意点
対外貿易権とは/国内貿易権とは/営業許可証への統合/税関登録番号による管理
- ③中国の輸入貿易管理
中国の輸入貿易管理/輸入に関わるその他の管理と検査検疫(ISPM15/中古機電産品の輸入・化学品・薬品・食品・化粧品等)
- ④加工貿易について
加工貿易とは何か(進料加工と来料加工)/加工貿易に見るトラブル
- ⑤中国の輸入通関を検証する
輸入通関の流れを検証する/輸入通関のトラブルの種類・原因/輸入通関のステップ/その他の通関システム(クーリエ便・一時輸出入制度)/HS番号/課税価格と関税及び輸入関係諸税
- ⑥機械設備等の減免税制度
外国投資企業に対する減免税措置/増徴税制度改革に伴う影響
- ⑦中国での保税制度をどう利用するか
輸入で使用される保税制度の種類/輸入における保税制度の利用方法/結転制度
- ⑧中国の輸入外為制度
中国の外為決済/ソフトの輸入

締切/対象/受講料等

- 締切：2018/2/28(水)※定員に達し次第締切
- 対象：中国貿易に携わるすべての事業者の方
- 申込：協会Webサイトよりお申し込みください。
(<http://www.kanzei.or.jp/>)

- 定員：いずれも48名 ※先着順
- 受講料：賛助会員=12,000円+税
：一般=15,000円+税
(いずれも1人当たり、受講料にはテキスト代を含みます)

講師紹介 岩見辰彦(いわみ たつひこ)：1963年慶應義塾大学経済学部卒業後、三井倉庫(株)に入社。1985年~1986年ニューヨーク現地法人勤務。帰国後、国内業務、国際部勤務を経て、1992年~1993年中国駐在員として上海勤務。1993~1999年国際輸送事業部並びに役員付、営業部所属。1999年~2001年再び上海勤務を経て同社を定年退職。その後、東京倉庫協会常務理事、専務理事を歴任。

お問い合わせ先

公益財団法人 日本関税協会 教育・セミナー G

TEL：03-6826-1434 FAX：03-6826-1435

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

ベトナム進出とビジネスリスク

—投資法・企業法の影響、通関と税務リスク—

講師

齊藤雄久氏
今村茂氏

開催日時 2018/3/9(金) 10:00~16:30

会場 連合会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

ベトナムへの投資や通関と税務リスクについて理解を深めましょう。

チャイナプラスワンとして注目を集めて久しいベトナムですが、実際に現地へ進出した後に、その独特な制度・枠組みに戸惑いを覚える企業の方もいらっしゃいます。そういった事態を避けるためにも、まず備えが必要です。

当セミナーでは投資と税務の二つの側面から、現地で活躍するコンサルタントが解説を致します。投資については「投資法・企業法に基づくベトナム進出の注意事項」と題し、2015年7月に施行された現行の投資法・企業法の概要とその後の経過、投資に関連した手続き・法的枠組みを解説致します。税務については「通関と税務リスク、リスク回避のための管理会計」と題し、輸出加工企業(EPE)の通関制度上のリスク、2015年4月に改正された通関制度の経過、トラブル事例とその対処法、EPEを取り巻く商流、そしてリスク回避の手法としての管理会計を解説致します。

セミナー内容

「投資法・企業法に基づく

ベトナム進出の注意事項」

AIC Vietnam Co.,Ltd.

President 齊藤雄久氏

- ①投資法・企業法の概要と施行後の経過
- ②会社の設立方法、および外資への規制
- ③既進出企業への影響
- ④外国人への就労の規制
- ⑤労働法の概要・同法の改正案

「通関と税務リスク、リスク回避のための管理会計」

AIC Vietnam Co., Ltd.

General Director 今村茂氏

- ①EPE(輸出加工企業)の通関制度
- ②通関制度の新法令と施行後の経過
- ③指摘事例と懸念点
- ④EPEによる国内販売、販社ライセンス
- ⑤複雑さを増すEPEの商流
- ⑥リスク回避のための管理会計

締切/対象/受講料等

●定員：48名 ※先着順

●締切：2018/3/2(金)
※定員に達し次第締切

●受講料：賛助会員=10,000円+税
：一般=15,000円+税
(いずれも1人当たり。受講料にはテキスト代を含みます)

●対象：ベトナムでビジネスを展開中の事業者の方、特にベトナムでの加工貿易を行っている輸出加工事業者の皆様

●申込：協会Webサイトよりお申し込みください。
(<http://www.kanzei.or.jp/>)

講師紹介 齊藤雄久(さいとうたかひさ)：AIC Vietnam Co.,Ltd. President 主に現地進出、労務関連のアドバイスを実施。ジェトロハノイメールマガジン、時事速報ベトナム版などに、ビジネスコラムを執筆中。1994年12月よりベトナム在住。

今村茂(いまむらしげる)：AIC Vietnam Co.,Ltd. General Director 会計・税務の専門家としてアドバイスを実施。管理会計・分析、税務調査案件を主とする。ハノイの他、ハイフォン、ダナンを担当。米国公認会計士試験合格者。2011年7月よりベトナム在住。

お問い合わせ先

公益財団法人 日本関税協会 教育・セミナー G

TEL：03-6826-1434 FAX：03-6826-1435

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

日本関税協会主催

実地研修のご案内

— 通関の現場から担当官による講義まで —
通関の現場の「いま」を感じ取って下さい。

輸出入貨物物流の実態について学ぶ、まさに「百聞は一見にしかず」の見学会。一般では視ることのできない港湾施設をご覧いただき、物流施設のスケールの大きさを感じるだけでなく、実際の国際貨物の流れと、日常の書類の流れとが重なり、日々の業務が形となって現れます。



最近の開催例

- 2015年10月・11月 …………… 東京港／横浜港／成田国際空港／名古屋港／関西国際空港
- 2016年6月・9月 …………… 成田国際空港／東京外郵便／東京港
- 2016年10月・11月 …………… 東京港／横浜港／成田国際空港／名古屋港／関西国際空港
- 2017年3月～6月 …………… 川崎外郵便／羽田空港／東京港／横浜港／成田国際空港／東京外郵便
- 2017年10月～2018年1月(予定) …… 東京港／横浜港／成田国際空港／名古屋港／関西国際空港／博多港(計画中)

(※地方での港湾関連施設の研修も今後は回数を増やしてまいります)

開催内容・時期等については、決まり次第ホームページにてご案内いたします。

<http://www.kanzei.or.jp/>

お問い合わせ先

公益財団法人 日本関税協会 教育・セミナー G

TEL : 03-6826-1434 FAX : 03-6826-1435

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

※一般価格で複数の講座の受講料をお支払いいただくよりも、賛助会員にお入りになって、会員価格でお支払いいただいた方が、お得な場合もございます。お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。また、それ以外にも何かご不明な点がございましたら、下記事務局へお尋ね下さい。

公益財団法人 日本関税協会
教育・セミナーグループ

Tel 03-6826-1434 Fax 03-6826-1435

2016/10-11	12	2017/1	2-3
<ul style="list-style-type: none"> ●10/23(月) 品目分類 (1) ●10/25(水) グローバルビジネスリスクへの対処 <ul style="list-style-type: none"> ●11/6(月) 貿易実務【基礎編】 ●11/20(月) 通関手続【入門編】 ●11/27(月) 品目分類 (2) 12/11-12(月・火) 基礎から振り返る貿易実務 ●● 	<ul style="list-style-type: none"> 1/17(水) 貿易取引の英文レター ● 12/18(月) 品目分類 (3) ● 	<ul style="list-style-type: none"> 1/22(月) 品目分類 (4) ● 1/25(木) 貿易実務【基礎編】 ● 2/8(木) 貿易取引の構造変化と実務 ● 2/16(金) 中国の通関と貿易 ● 2/23(金) 貿易実務【金融編】 ● 2/26(月) 品目分類 (5) ● 3/2(金) 貿易取引のリスク対策 ● 3/6(火) 検証：中国貿易と通関【輸出編(日本への輸出)】 ● 3/7(水) 検証：中国貿易と通関【輸入編(日本からの輸入)】 ● 3/9(金) ベトナム進出とビジネスリスク ● 	<ul style="list-style-type: none"> ●2/1(木) 輸出通関手続 ●2/2(金) 輸入通関手続 3/19(月) 品目分類 (6) ●